

Citation: Whittaker R, Borland R, Bullen C, Lin RB, McRobbie H, Rodgers A. Mobile phone-based interventions for smoking cessation. *Cochrane Database of Systematic Reviews* 2009, Issue 4. Art. No.: CD006611. DOI: 10.1002/14651858.CD006611.pub2.

CRG名: Tobacco Addiction

[最新版\(英語版\)はこちら](#)

英語版最終改訂年月: 28 June 2009

Clib issue No.; N/U: 2009 issue 4, New

背景: 伝統的な禁煙サービスではアクセスできないものにアピールするために、革新的で効果的な禁煙介入が求められている。携帯電話は広く利用されており、現在では多くの人々、特に若年成人の日常生活によく溶け込んでいる。携帯電話は禁煙のような健康プログラムの配信のために有望なメディアである。

目的: 携帯電話による介入が喫煙者の禁煙支援に効果的であるか検討すること

検索戦略: MEDLINE, EMBASE, Cinahl, PsycINFO, The Cochrane Library, the National Research Register and the Clinical Trials registerを検索した。言語や出版日による制限はしなかった。

選択基準: ランダム化もしくは準ランダム化比較試験を選択した。年齢を問わず、禁煙したいと思っている喫煙者を参加者とした。携帯電話利用者を対象とした、携帯電話を用いて配信することを基本として、携帯電話で活用できるいくつかの機能やアプリケーションを用いた、いかなる介入も選択した。

データ収集と分析: 特定の質基準と方法論の詳細に関する情報は、標準化されたフォームを使用して抽出した。試験から脱落したか、追跡から外れた参加者については喫煙しているとみなした。選択した研究のメタアナリシスは、I2統計量によって統計的な異質性の証拠がないと評価された場合にはマンテルヘンツェルの固定効果モデルを用いることとした。メタアナリシスが不可能な場合は、概要と記述統計で示される。

主な結果: 小規模な非ランダム化実現可能性試験であった4つの研究が除外され、追跡期間が6か月未満であったため2つの研究が除外された。5つの論文で報告されていた4つの試験が選択された。その内訳は、ニュージーランドでの携帯電話でのメールプログラム、英国での携帯電話でのメールプログラム、ノルウェーでの2つの異なるグループを含むインターネットと携帯電話プログラムである。異なる種類の介入は別々に解析した。メタアナリシスにより携帯電話でのメール試験を統合したところ、短期間での禁煙の自己報告が顕著に増加した(RR2.18, 95%CI 1.80~2.65)。しかしながら、長期間でのアウトカムにおいては顕著な異質性が認められ、大きな規模の試験ではアウトカムの誤分類の問題があったため、これらのデータは統合されなかった。インターネットと携帯電話プログラムからのデータを統合すると、短期・長期での禁煙の自己報告が有意な増加を示した(RR2.03, 95%CI 1.40~2.94)。

レビューアの結論: 現時点でのエビデンスでは、携帯電話を用いた禁煙介入に関しては長期の効果が認められない。短期の結果は効果があるが、携帯電話を用いた禁煙試験の長期における効果を見る、より厳密な研究が必要である。

(翻訳 田村梨沙・監訳 森 亨; JCOHR)

翻訳公開日: 10年7月1日

ご注意: この日本語訳は、臨床医、疫学研究者などによる翻訳のチェックを受けて公開していますが、訳語の間違いなどお気づきの点があれば、Minds事務局までご連絡ください。なお、コクラン・ライブラリは毎月、改定版が発行されます。Mindsでは最新版の日本語訳を掲載するよう努めておりますが、編集作業に伴うタイム・ラグが生じている場合もあります。ご利用に際しては、最新版(英語版)の内容をご確認ください。